

# I League

## Iリーグとは…

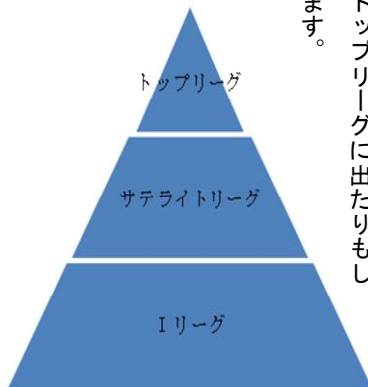
現在の各大学の部員数や教育的な視点から、トップリーグとは異なるより多くの大学サッカー選手に出場機会を与えることを目的とした公式戦です。

Iリーグでは、より多くの部員に公式戦の出場機会を提供することだけではありません。学生を中心としたリーグ運営を行うことにより、その経験が大学を卒業し、社会人になった時に、多くの成果として活かされることも目的としてあります。

## サテライトリーグとのちがい…

一言でいうと強化のためのサテライトリーグに対し、Iリーグは普及のための大会であります。

図で表すと左のようになっており、Iリーグでの活躍した選手がその実績が認められ、サテライトリーグやトップリーグに出たりもします。



## Iリーグの魅力

Iリーグだからこそのこと。その魅力についてお伝えしたいと思います。

### ① 同じ大学チームのダービー戦…

Iリーグは普及の大会であるため、1つの大学から複数チームを形成して参加することが可能です。

そのため、同じ大学同士が試合をすることもあり、今年度のリーグではびわこ大がダービーマッチで対戦しました。

### ② 参加チームによる試合運営

Iリーグは参加する各大学のグラウンドを借りて試合を行い、当日の運営等のマネジメントもその大学のIリーグ実行委員が中心となっており行います。学生主体で行うため、様々な問題にぶつかりますが、1つ1つを乗り越えていくことで貴重な経験となります。

### ③ 審判派遣

Iリーグの審判は参加チーム、もしくは審判部から派遣しています。公式戦という真剣な試合で笛を吹くという経験は貴重な経験となります（審判部活動に関しては後のページで詳しく紹介しています）。

## Iリーグに関わる業務の様子

Iリーグには毎年数多くの大学が参加しているため、各大学とIリーグ担当の連携が不可欠なものとなっております。

特に大会が始まる前の日程調整の時期は毎日のように連絡を取り合っています。Iリーグはトップの試合と日程が重ならないように試合を組んでいくため、トップリーグの日程も把握しなければいけません。それは、試合の日が重なりと常同スタッフの人数不足が発生したり、またトップリーグの応援に支障が発生したりするからです。そのため、もし対戦チーム同士のトップの日程が土曜日と日曜日に分かれた場合は平日開催を設けたり、その日程をチーム同士で交渉したり、Iリーグ担当幹事も協力して決めます。日程が確定した後も審判の割当を考えたりなどとIリーグを1つの大会として成立させるために必要なことをやっています。

またリーグが始まってからは、各試合で生じる問題を解決したり、メンバーや出場停止選手の管理をする

## Iリーグニュース

**桃山学院大学 I のチームが年間総合優勝決定戦で優勝！**

**東海で行われる全国大会への出場が決定しました。**

詳しくは関西学連の公式HPで↓

<http://www.jufa-kansai.jp/>

## Iリーグ2009【関西】

ブロック別優勝チーム

Aブロック

桃山学院大学 I

Bブロック

関西学院大学 II

Cブロック

大阪産業大学

などと、健全な試合が行えるようにマネジメントしていきます。必要に応じて会議を行います。Iリーグの理念や運営状況などについて話し合い、過去に起こった問題が再発しないようにします。このようにしてIリーグを年間通じて開催していき、普及という面から関西学生サッカーを支えています。